

一 会 員 紹 介 一

会員 NO A-142 山木さとみさん

インテリアコーディネーターを志したのは自宅を新築するという経験をしたことからです。社会人としての最初の勤務先はハウスメーカーでしたが、すでに退職していた私に当時の上司が仕事抜きでアドバイスをしてくれました。不思議なものでOLとして働いていたときは恵まれた環境にしながらインテリアにはほとんど興味を持たずにおりましたが、自宅の計画を進んでいく中、お家の中のことはいろいろあって面白いと思うようになっていたのです。上司の薦めもあり、自宅新築後にこの資格を取得しました。その後、いろいろな方にお世話になりながら何社か経験をつまらせていただき、現在はカンディハウス札幌に勤務しております。カンディハウス札幌は家具の販売が主ですが、インテリアすべてにかかわる商品をご提案しています。旭山公園近くの非常に環境のよい場所にあります。ショップのしつらえ、接客ともお客様に満足いただけると思います。会員の皆様のお仕事にもお役にたてる空間ですのでぜひご利用ください。お待ちいたしております。

施工写真は昨年私が担当させていただいた札幌市内の有料老人ホームです。



←15年ほど前に専門学校で講師をしていた時の同僚、教え子とで先日忘年会をした時のものです。左手前が私です。

会員 NO A-148 残間美樹さん

日高山脈の麓・十勝清水町という小さな町の小さな工務店で、主に住宅の設計及びインテリアコーディネートをしています。

年に携わる物件は限られていますが、最終のコーディネートをご想定しながら間取りのプランニングが出来るので、お施主様が住宅を取得する工程を一貫してお手伝い出来ることに、やりがいと誇りを感じて、日々奮闘しています。

私自身、趣味としても、インテリアが大好きなので、ハードになりがちな住宅建設の現場に、インターネットやインテリア雑誌から取り寄せたパーツを取り入れたり、タイルやガラスの質感をプラスしながらインテリアコーディネートを楽しませてもらっています。最近、奥様主導で家づくりが進むことも多いので、読んでいた雑誌が同じだったり、素敵なインテリアが紹介された芸能人の話で盛り上がりながら、雑誌に載っていた照明器具を探したり、本に載っている収納を真似て大工さんに作ってもらったり、「家づくりってこんなに楽しい！」と、思ってもらいながら進めたいと思っています。

私の担当の物件は、大工さんや他の職人さんにやりづらいた言われますが、それにめげず、常に、素人目線を忘れないで、プロとして提案していくことを、心掛けています。



←モザイクタイルをあしらった、オリジナル洗面化粧台 →チェッカーガラスを羽目込み、ヴェネチアンガラスの取っ手を使った塗装仕上げのドア



<http://www.kkkatsuta.com>

「2008.3.26 開催 TIC こんな部屋いいなコンテスト」審査経過報告 12月10日、(社)インテリア産業協会北海道支部会員の皆さんと審査を行いました。子どもたちが考えるこんな部屋いいなとインテリアの距離を感じます。インテリアを考えるきっかけにもなる親子セミナーが必要ですね。☺ ①

会員 NO A-147 原さくらさん

友人から『ジェノベーゼソースを作るときに「松の実」がどこにも売ってなくて探した』という話を聞いて「子供の頃でっかい松ぼっくりを拾ったら松の実 だった」ことを思い出しました。記憶違いかもしれないので、ほんとに松の実なのか、北海道に生えてるものなのか、裏付けをと思って調べたら、確かに松の実の木は北海道に分布していて、名前を「チョウセンゴヨウ」といいます。

秋にうちの外壁の塗り直し工事を行いました。いつも5月に大量の毛虫の巣になっていた(そらもう地獄絵図)、隣の家との境目の生け垣は、びっちり外壁にくっついているため枝切りの必要あり。でもたぶん数年前に空家になった隣の家の生け垣だと思し、ってことで、斜め奥の家に工事の挨拶がたら相談に行ったら、なんと「もとお宅の土地に住んでらした方が植えていたもの」とのこと。というわけで、ばっさり伐採してしまいました。するとわたしの寝室の明るい事。目覚めもさわやかになってなもんです。(朝まで仕事して午前中寝ている生活なのであまり関係ないんだが・ああ、この部分だけに近況報告が凝縮されてるなあ) さて、工事からひと月ほどたって、外壁にかからない、隣の奥の家への通路と家の車庫前との境目に、いつもの工事監督タカハシさんが、好意で「カイズカイブキ」を植えてくれました。撤去した生け垣の一番手前(道路脇)は、なんだか立派な松だったので、残してもらっていたのですが、タカハシさんと一緒に来た植木屋さん曰く。「でっかい松ぼっくり生ってなかったか?」へ? 「ほれ、根本にでっかい松ぼっくり落ちてる。チョウセンゴヨウだ」 えええ! 「1年おきに生るから来年生るわ」 灯台下暗し!(10年近く住んでいて気づかなかったとも!) よし バジルも植えよう。

会員 NO A-193 古谷悦子さん

—旅・さ・が・す・器—

生命の起源は、約38億年前といわれ、人とチンパンジーのゲノムの差異は、約1%程度であるとか? 人は他者と交流し、その群れの中で思考回路を廻らせるが、道具を使うという行為は、生き延びるための知恵であり、日常生活をサポートする意味で、道具に依存して暮らしてきた。つまり、人は、自然のルールを逸脱した結果、脳の進化を促し、道具を創造させたものと推測する。例えば、器探しについて考えると、使い勝手(持ち易く防汚処理が安易である)が良いことが重視されるが、さらに、人の動作に応じたデザインや妥当な価格が求められる。最近私は、そこに設置されることで喫煙者を許容し、無言で至福の時を提供する器の存在に注視しているのだが、過日、訪れた佐賀市の某ホテルのロビーの、サイドテーブル上に置かれた器が、その役割を果たしていることに気づかされた。その染付の五寸ものは、左右対称に設えられた一方のスペース(分煙)の静寂さを一層醸し出し、地球環境を汚染し、他者の健康をも脅かすと指摘される煙草を、中心部に寄せ掛けてそっと周りから擁護する かのような器であった。陶磁器の故郷有田に隣接した城下町佐賀は、中国や西洋への窓口長崎と江戸を結ぶ街道の宿場町として、先人達の器探しの俵をゆるやかな時間が流れていた。

⑤ 旧古賀銀行 明治18年に両替商をしていた古賀善平が設立した銀行で、大正8年頃には、九州の5大銀行のひとつに数えられるまでに成長しました。大正15年、恐慌により休業に追い込まれ、その後は商業会議所、労働会館などとして改装されましたが、現在、歴史民俗館として大正5年当時の姿に復原されています。また、館内にはカフェが営業しており、コーヒーなどを味わいながら、大正ロマンの雰囲気を楽しむことができます。



⑥ ホテルのロビー 外は雪がチラチラ〜 携帯で撮りましたので鮮明ではありませんが・・・

⑦ ロビーのガラス戸越しに、かもが群れている光景が見られ、のどかな、ゆったりとした時間が流れていました。



会員 NO A-197 外山真実さん

捨て猫を保護しているうちに増えてしまった3匹の猫達に毎日邪魔されながら仕事をしています。現在は地元の工務店他・ハウスメーカー等の仕事をしています。

↓ 昨年の秋にお仕事をしたマンションのエントランス



仕事に家事、猫の世話、高校生になる息子の弁当作りに送り迎え・・・。忙しい毎日ですが、時間があるとエアロビクスやピラティスなどで汗を流し体力作りに励んでいます。また、時間が無くてやりたくなくなってしまう趣味はケーキ作りで、作る事と食べる事がストレス発散になっています。地域柄かぼちゃを貰う事が多く、秋になるとかぼちゃのプリンやケーキをよく作っています。簡単なレシピがあるので皆さんもぜひお試しください! (かぼちゃケーキの材料) ・かぼちゃ 250g (蒸すかレンジで加熱する) ・バター 50g ・卵 3個 ・生クリーム 200cc ・砂糖 60g ・薄力粉 大さじ 3 全てをフードプロセッサーに入れて混ぜる。21cmの丸型使用・170℃で40分弱焼く。



会員 NO A-154 姉帯美保子さん

はじめまして。会員の姉帯美保子と申します。私の経歴を紹介します。

1990年 IAI 国際インテリアアカデミー卒業(課題・課題に明け暮れた二年間をやっと卒業) 1990年某ハウスメーカー インテリア課入社(あこがれのコーディネーターになるも仕事→残業→休日出勤→また仕事の毎日。が、しかしこの約五年が現在のベースになっていると身にしみる今日この頃) 1995年～現在までフリーにて活動中。こんなに簡単に経歴がまとまってしまう私ですが、これからもよろしくお願ひします。

写真の場所は、昨秋訪れた静岡県伊豆の「浄蓮の滝」に行く途中です。おもわず「じょうれんのた〜き〜」とロズさんでしまいました(笑) 最近の仕事は、新築マンションの住戸内仕様色決め及びモデルルームコーディネートを中心に、個人住宅のコーディネートなどしております。



会員 NO A-201 高橋裕子さん

必要に迫られた訳でもなく、ただ専業主婦の生活に風穴を開けてみたい、自分の可能性を見てみたい、などと思ひ興味のあったインテリアを勉強してみようと突然思い立ったのが数年前。夫が学生時代に使っていたという建築大辞典を傍らに、ハンドブックと、故山本夏彦氏の『室内』、工作社出版の過去問の小冊子数冊が、私の受験のための全教材。なぜだか知らないけれど、何かに憑かれたみたいに懸命に勉強し、知らないことは出ないでください、と神頼みをして受験。受かったら、まだその熱が冷めないうちに、福祉住環境コーディネーター2級、照明コンサルタントの資格にも手を出し、掌握。何であんなに熱くなれたのか、今となっては本人でさえも理解不能の、I・Cに纏わる私の全て。という訳で、仕事関係の写真は皆無に等しいので、最近の“おいしい作品”をご紹介します。ベーグルはハルユタカブレンド、焼き菓子のシフォンケーキとガトーショコラは、東京小金井「オープンミトン」のパティシエ、小嶋ルミさんも推奨している江別製粉の薄力粉を使っています。これらのおいしいです。食に関しては特に北海道に住む幸せを感じますね。

